

ユーザー操作マニュアル
NI Collabo 360
SOSセンサー取扱説明書

目次

[はじめに](#)

[デバイスの使い方](#)

[FAQ](#)

[禁止事項](#)

はじめに

NI Collabo SOS（以降、SOSと記載します）の導入いただきまして、まことにありがとうございます。
SOSご利用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

- 本書の読み方

1. 本書においては、「SOSセンサー」を「センサー」と表記しています。
 2. 本書はセンサーのご利用方法について説明しています。
 3. 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは禁止されています。
 4. 本書の内容以外の利用用途でセンサーを利用することは禁止されています。
-

▶ 使い始めるためには

センサーの電池を長持ちさせるために出荷時には電源をOFFにしています。
センサーを設置する時に電源をONにしてください。

手順 1

センサーを使い始めるためには、**センサーのスイッチを1回（2秒以内）おし**てくだ

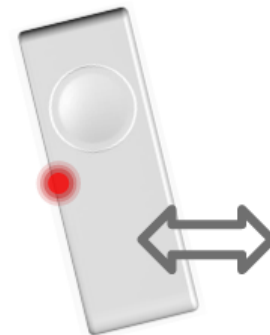
さい。
LEDランプが点滅したら加速度センサーが動作するようになります。



手順 2

しばらく（約5分後）経過した後に、軽くセンサーを振ってください。

LEDランプが点滅したら、センサーが反応している証拠になります。
センサーを振る前から定期的にLEDランプが点滅している場合はすでにセンサーが反応している証拠になります。



▶ 設置場所について

センサーを設置するおすすめの場所はトイレのドア、リビングのドアなど普段の生活の中で1日に1回以上は利用する場所に設置することをお勧めします。

センサーを高頻度で動作させた場合、電池がすぐに切れる場合があるので1日に2から3回程度の場所にしてください。

設置場所によっては電波の入りが悪くなる場合があります。

例えば窓がなく奥まった場所にある部屋、地下などは電波が入りにくいいため設置しないようにお願いします。

また金属製のサッシ、玄関、冷蔵庫に直接設置すると電波の入りが悪くなります。

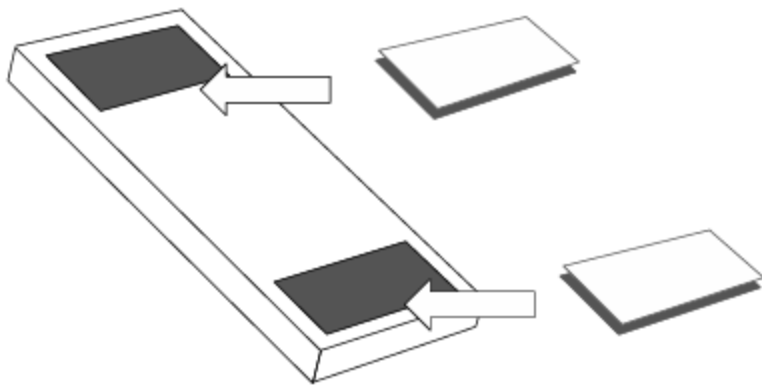
設置する場合はセンサー本体と同梱しておりますクッションを接地面とセンサーの間に挟んでください。

設置場所	通信品質
トイレなどのドア	木製の場合 ○ 金属製の場合 △
リビングの入り口の引き戸	木製の場合 ○ 金属製の場合 △
冷蔵庫のドア	ガラス製の場合 ○ ステンレスなど金属製の場合 △
窓がなく奥まった場所にある部屋の中	×
地下	×

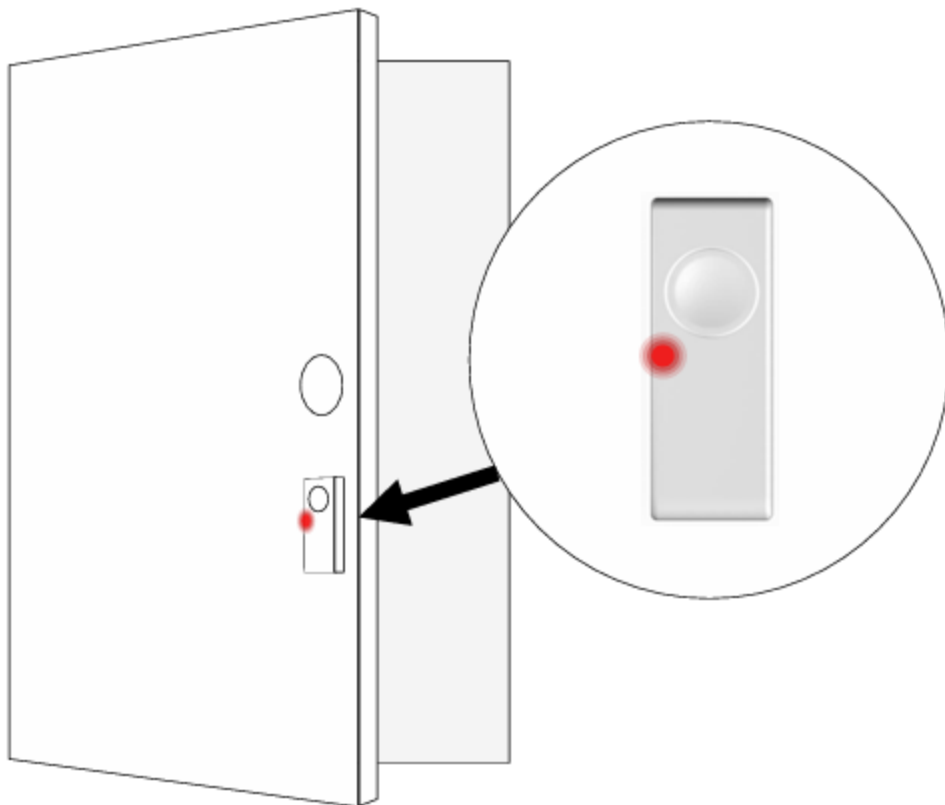
▶ 設置方法

設置例1 ドアに設置する

1. センサーの裏面にあるマジックテープに、同梱しているマジックテープを貼り付けます。

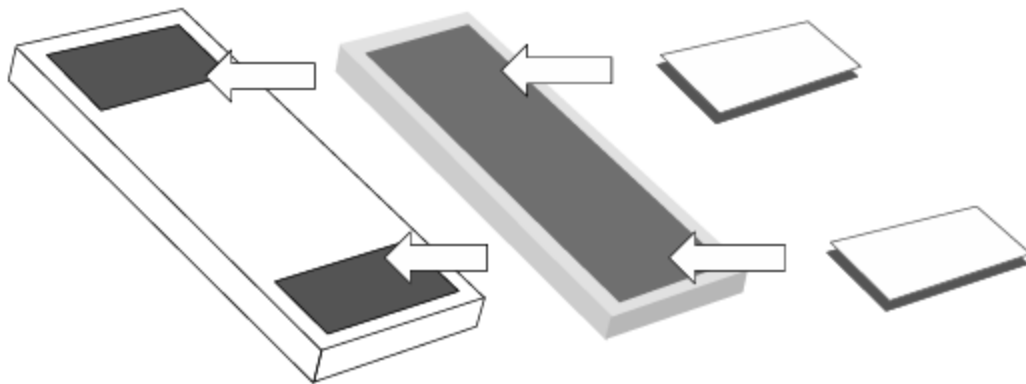


2. 両面テープをはがし、ドアノブから数センチ離れた場所に設置します。

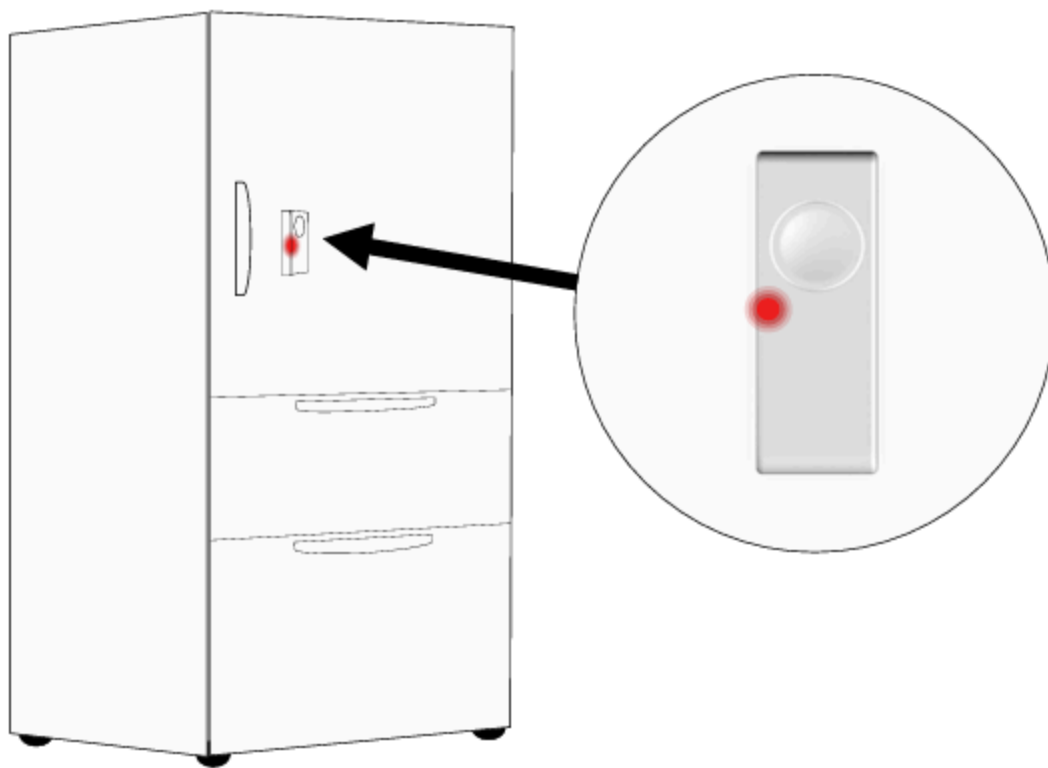


設置例2 ステンレス製ドアの冷蔵庫に設置する

1. センサーの裏面にあるマジックテープに、クッションとマジックテープを貼り付けます。



2. 両面テープをはがし、普段よく開ける場所に設置します。



▶ 電池を長持ちさせるための設定

センサーの電池を長持ちさせるために以下の操作をしてください。

センサーのスイッチを10秒間長押ししてください。

LEDランプが細かく点滅しますのでしばらく押し続けてください。

LEDランプを点滅させないようにすることで電池を長持ちさせます。

この設定はセンサーを設置した後に実施していただくことをお勧めします。

まずは設置後しばらく放置（1時間程度）してからセンサーが反応することを確認した後、

この電池を長持ちさせる設定を行っていただくことようお願いいたします。

この設定を行わなかった場合、電池の消費が大きいいため長持ちせず交換が必要になります。



10 秒間長押しする

▶ デバイス仕様



製造元	Simple Hardware s.r.o.
サイズ	81 × 29.5 × 12mm
重さ	30 g
動作温度	-20℃ ~ 60℃
防水・防塵性能	IP68
電池	リチウムイオン電池1500mA（交換不可）

FAQ

Q ドアなどに設置したセンサーのLEDランプが点滅しない

- A
- お使いになる前に、スイッチを軽く一回（2秒以内）押す必要があります。スイッチを一回押してLEDランプが点滅することを確認してください。その後、20分~1時間ほど放置し軽くセンサーを振りLEDランプが点滅することを確認してください。
 - ドアの開閉（動き）を検知し動作するように設定しています。ドアではなく、壁などセンサーが動かない場所に設置している場合は、ドアなど動きがある場所に設置していただくようお願いします。
 - 電池を長持ちさせる設定になっている。製品「NI Collabo 360」の機能「SOS」でセンサーが反応しているか確認してください。

Q LEDランプが何もしていないのに点滅している

- A
- 電池を長持ちさせる設定が不十分な場合、ドアの開閉を検知してから約1時間LEDランプが点滅するようになっています。LEDランプが点滅しているということは、センサーが正しく反応している証拠ではありますが電池を長持ちさせるための設定をしていただくようお願いします。

Q スイッチを押してもLEDランプが反応しない

- A
- 使い始めの場合に10秒以上スイッチを押し続けてもLEDランプが点滅しない場合、電池切れもしくは故障の可能性がります。当社サポートあてにセンサー裏面に記載されているIDをご連絡ください。
 - 電池を長持ちさせる設定になっている。製品「NI Collabo 360」の機能「SOS」でセンサーが反応しているか確認してください。

Q ドアなどに設置していたセンサーがはがれてしまった

- A
- 予備のマジックテープを同梱していますので、設置場所などのマジックテープを交換してください。

Q ガラス窓に設置しても大丈夫ですか

A 網入りガラスの場合、鉄線の影響で電波の入りが悪くなる場合があります。設置する場合はクッションを挟んで設置してください。

Q 屋外に設置しても大丈夫ですか

A 屋外に設置することは禁止しております、電波の入りやすい屋内に設置してください。

Q マンションやビルなど高層階でも利用できますか

A 利用できます。
ただし、金属の近くや奥まった場所は電波の入りが悪くなります。

Q 山間部や海上でも利用できますか

A 利用できません。

Q サービスエリアの範囲を教えてください

A <https://www.sigfox.com/en/coverage>をご確認ください。

Q 海外でも利用できますか

A 利用できません。

Q 見守りたい人に持ち運びさせてもよいですか

A 屋内で利用してください。

Q 車内に設置してもよいですか

A 車内は高温になる場合があるため、屋内で利用してください。

Q 冷凍庫の中に設置してもよいですか

A 低温の影響、電波の入りが悪い構造が想定されるため、屋内に設置していただくようお願いします。

Q 水がかかってしまいましたが大丈夫ですか

A 防水加工されていますが、水などに濡らさないようにしてください。

Q 壊してしまった、紛失してしまった

A 壊してしまった場合、当社サポートあてにセンサー裏面に記載されているIDをご連絡ください。
紛失された場合、センサーと同梱しているIDシールをもとに当社サポートあてにご連絡ください。

禁止事項

- 高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
 - 電子レンジ、IH調理器などの加熱調理機器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。
 - 砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。
 - 水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。
 - センサーに強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。
 - 分解、改造をしないでください。
 - 落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃を与えないでください。
 - 使用中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけど、けがの原因になります。
 - 可燃性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所では利用しないでください。
 - 湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
 - 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
 - 火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
 - 鋭利なもの（釘など）を刺したり、硬いもの（ハンマーなど）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
 - センサーは室内でのみご利用ください。
室内の温度は約0℃から40℃を想定しております。
-